

平成22年度 新聞記事等一覧 (2月分)

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	掲載関係者・部局等
1	2月2日	日刊工業新聞	21面 レーザー 留学生は武器	東京農工大学永井教授が、「外国に親しい研究室ができれば、優秀な大学院生やインターンシップ生を多数、留学生として送ってくれるのが魅力だ」とコメントし、増えてきた外国人の訪問者への情報提供を目的に、研究室の紹介冊子を日本語・英語のダブル表記にし、教育で留学生を、研究で企業を、それぞれ獲得する大事な武器となっていると紹介。	工学研究院 永井 正夫 教授
2	2月3日	毎日新聞	25面 国公立大学2次試験出願状況	東京農工大学への出願状況が、国立大の一覧に掲載。 (2日午後3時現在 文部科学省調べ)	
3	2月3日	日刊工業新聞	1面 東京農工大/JAXA/交通研/鉄道 総研 乗り物 安全設計で連携 東京西部4機関 4月に研究拠点	東京農工大学工学府が、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、交通安全環境研究所、鉄道総合技術研究所と連携し、乗り物の安全・安心に配慮した設計の研究拠点を4月に立ち上げると紹介。	工学府 機械システム工学専攻 永井 正夫 教授
4	2月3日	日刊工業新聞	17面、 19面 第7回キャンパスベンチャーグランプリ 東京 各賞の受賞者・グループ <ビジネス部門> 特別賞 リそな銀行 賞	東京農工大学技術経営研究科の中山政行氏、林和希氏、井内諒氏、十河直人氏が、「第7回キャンパスベンチャーグランプリ東京」におけるビジネス部門のコンテストで提案した「位置情報を活用したソーシャルメディアによる地域活性化事業」で、「特別賞 リそな銀行賞」を受賞したと紹介。 また、本学卒業生の真下智昭氏が、歴代の上位受賞一覧に受賞者として掲載。	技術経営研究科 中山 政行 氏(学生) 林 和希 氏(学生) 井内 諒 氏(学生) 十河 直人 氏(学生) 真下 智昭 氏(卒業生)
5	2月7日	朝日新聞	25面 題材は日本シリーズ、海外ニュース 神奈川工大 評判の授業 50人分DVDに	東京農工大学齋藤教授が、神奈川工科大学教育開発センター副所長により、わかりやすくおもしろい授業と評判の教員50人の授業風景を映像に収めた「DVD授業ライブラリー」の中で、身近な問題を取り上げて学生の興味を引く努力をしていると紹介。	工学研究院 齋藤隆文 教授
6	2月10日	東京新聞	22面 里山づくりヘシンプ 佐野市と東京農工大があす	東京農工大学佐藤准教授が、環境保全や農林業振興に関する連携協定を結んでいる佐野市と開催したシンポジウムで基調講演を行ったと紹介。	農学研究院 佐藤敬一 准教授
7	2月10日	東京新聞 TOKYO Web	WEB 里山づくりヘシンプ 佐野市と東京農工大があす	東京農工大学佐藤准教授が、環境保全や農林業振興に関する連携協定を結んでいる佐野市と開催したシンポジウムで基調講演を行ったと紹介。	農学研究院 佐藤敬一 准教授
8	2月10日	47NEWS	Web 里山づくりヘシンプ 佐野市と東京農工大があす	東京農工大学佐藤准教授が、環境保全や農林業振興に関する連携協定を結んでいる佐野市と開催したシンポジウムで基調講演を行ったと紹介。	農学研究院 佐藤敬一 准教授
9	2月11日	日本農業新聞	10面 生ごみ資源を堆肥に 給食の残渣利用 東京都府中市立南 白糸台小学校 東京農工大とJAマイズ協力	東京農工大学澁澤教授が、府中市の「府中市生ごみ資源循環型モデル事業」として、市立南白糸台小学校で給食の残渣を利用した堆肥用資材の循環に取り組んでいることに対し、JAマイズと協力していること、この事業を通じ市内の農地で利用できる堆肥の生産を目指すとして紹介。	農学研究院 澁澤 栄 教授
10	2月12日	下野新聞	15面 東京農工大と佐野市シンプ 環境教育 在り方探る 市に授業の仲介役期待	東京農工大佐藤准教授と同大学院の新田啓洋氏が、本学と栃木県佐野市が昨年結んだ地域連携協定の記念シンポジウムのパネルディスカッションで、それぞれの視点から意見を述べたと紹介。	農学研究院 農学府 佐藤敬一 准教授 新田啓洋 氏(学生)
11	2月17日	日本農業新聞	12面 GAP指針案で農水省 耕種部門を網羅	東京農工大学澁澤教授が座長を務める農林水産省の「農業生産工程管理(GAP)の共通の基盤づくりに関する検討会」が、GAPを導入する際の目安となるガイドライン案を公開し、国民から意見を募り、今年度内の策定を目指すとして紹介。	農学研究院 澁澤 栄 教授
12	2月21日	日刊工業新聞	23面 著者登場 企業研究資金の獲得法 (丸善刊、03・6367・6038) 戦略的ニーズ読み込みが必要	東京農工大学永井教授が、「企業研究資金の獲得法」の著者として紹介され、本学における産学共同研究の今の課題などの質問についてコメント。	工学研究院 永井正夫 教授
13	2月22日	NHK	TV 首都圏ネットワーク ジャパンシンドローム	東京農工大学千葉教授が、日本のポストドク問題で、本学がイノベーション推進機構等の活動を通じたポストドク問題への取り組みについて、出演し、解説。	イノベーション推進機構 長 千葉 一裕 教授

追加記事等（1月分）

No.	掲載年月日	媒体名	記事(番組)表題	記事(番組)概要	掲載関係者・部局等
1	1月20日	日経産業新聞	11面 先端人 東京農工大学教授 直井 勝彦氏 EVなど用途拡大期待 「キャパシタ」大容量化	東京農工大学直井教授が、日本ケミコンなどと共同で開発した新型キャパシタの蓄電容量が従来品の4.5倍であり、さらに容量の大きいキャパシタも開発中で、この大容量化により電気自動車の補助電源、太陽光発電や風力発電設備など様々な分野にキャパシタの応用範囲が広がるので注目されると紹介。	工学研究院 直井 勝彦 教授
2	1月24日	日本経済新聞	14面 東京農工大 口蹄疫の研究拠点新設 家畜の国際感染症 情報の中核に	東京農工大学が、口蹄疫のように病原体が海外から流入する家畜の感染症を専門に研究教育する拠点を4月に新設すると紹介。	農学研究院長 國見 裕久 農学研究院長
3	1月24日	日本経済新聞	9面 キャリアの軌跡 日本女子大学長・理事長 蟻川 芳子さん 「月の石」分析で覚悟決める	東京農工大学経営協議会委員の蟻川 芳子氏が、日本女子大学長就任2年目で、2カ所に分かれた大学キャンパスをひとつに統合する決断を下し、教養・語学・情報・体育を含めた基盤教育を組み立て直したことや、自身の半世紀に及ぶ研究生活の軌跡について紹介。	蟻川 芳子 経営協議会委員
4	1月29日	読売新聞	27面 国公立大学2次試験出願状況	東京農工大学への出願状況が、国立大の一覧に掲載。 (28日午前10時現在 文部科学省調べ)	
5	1月31日	読売新聞	38面 広葉樹林 自然に復元 モデル事業 スギ人工林 伐採して放置	東京農工大学土屋教授が、林野庁が花粉症対策やクマの人里出没対策として、群馬県みなかみ町赤谷地域の国有林1万haのうち、約2,000haの人工林をモデル地域に指定して、スギの人工林からブナなど広葉樹の本来の植生に戻す事業を始めることに関し、コメント。	農学研究院 土屋 俊幸 教授